



寒暖差の激しい日々が続きますがいかがお過ごしでしょうか。今回のICT通信では「Chromeキャストを利用したTips」と「小野田小学校と高千帆中学校の取り組み」をご紹介します。

今月のTips

ChromeCastで大型モニターに画像・動画・PDFを表示する

Chromecastは、Chromebookの画面を大型モニターなどの外部ディスプレイへ表示させる機器です。無線通信のため、有線ケーブルの長さなどの物理的な制約がなく、教室の後ろからも投影が可能であり、ケーブルを接続することなく瞬時に投影が可能です。（※市内一部の学校では導入されていません）

通常、「ファイル」アプリから画像や動画・PDFを開くと「ギャラリー」アプリが開くため外部ディスプレイへキャストすることができませんが、下記の手順に沿って「Chromeブラウザ」にてファイルを開くと外部ディスプレイへ画面をキャストすることができます。

1	<p>「ファイルアプリ」を開きます ※ウィンドウが最大化となっている場合は、ウィンドウを画面半分程度の大きさに調整してください</p>	
2	<p>「Chromeブラウザ」を開いて、先ほど開いた「ファイルアプリ」のウィンドウを左右半分程度の大きさにデスクトップ上に並べます</p>	
3	<p>ファイルアプリ内にあるキャストしたいファイルを、ドラッグ&ドロップ操作でChromeブラウザに移動させます ※複数ファイルをキャストしたい場合は1つずつドラッグ&ドロップを行うとタブが追加されます</p>	
4	<p>キャストしたいファイルが表示されている「Chromeブラウザ」の右上にある「三点リーダー」をクリックして「キャスト」をクリックします。 表示されるChromeキャスト一覧からキャスト先を選択します。 (教室名やクラス名が設定されています)</p>	

<小野田小学校> ロイロノートを活用して台形の面積を考える

◆授業の目的◆

児童一人一人に授業の内容を分かりやすく教えて理解をする

◆導入の利点◆

・大型モニターを通じて自分の考えと比較して他児童との意見交換によって理解を深めることができる

◆授業の流れ◆

- ① ロイロノートで作成した台形カードを児童に配布
- ② 児童は配布された台形カードに線や文字を記入して面積の求め方を考える
- ③ 先生が複数の児童を指名して、大型モニターに発表者のロイロカードを表示させて発表させる
- ④ 先生よりロイロノートにて授業の復習問題カードを配布
- ⑤ 児童が問題を解き終わったら大型モニターにて正解を表示する
- ⑥ 最後に、大型モニターに正しい台形の公式を表示し、児童はそれを問題カードの空欄に記入する

◆授業の様子◆

児童が大型モニターを使用して自身の考えを発表すると、他の児童からは「共感」や「自分の考え方とは違っている」などの声上がり、「自分とは異なる様々な考え方を聞く（見る）」「互いに意見を出し合いながらみんなで考える」という授業が行われていました。

特に考える時間では、児童同士がお互いに話し合いながら授業が進められていたのが印象的でした。



<高千帆中学校> ロイロノートを利用した漢字の書き取り授業

◆授業の目的◆

故事成語や間違えやすい同音異義語などの漢字の書き取りを確認する

◆導入の利点◆

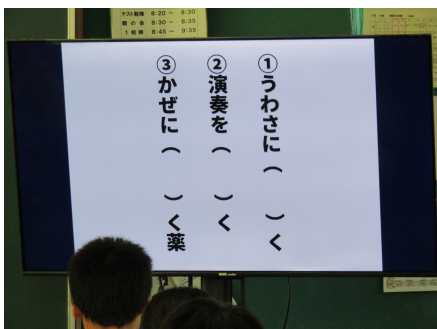
- ・大型モニターに問題を表示することでゲームのように楽しみながら取り組むことができる
- ・ロイロノートを利用することで、印刷～配布～回収が不要となり、工数削減が期待できる
- ・全員の解答を共有することで、共同的な学習も可能となる

◆授業の流れ◆

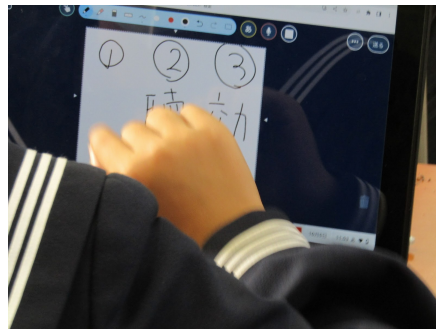
- ① ロイロノートで作成した問題を大型モニターに表示させる
- ② 生徒はロイロノートで配布されたカードに解答を記入する
- ③ 全員が解答を記入後に、正解を大型モニターに表示させる

◆授業の様子◆

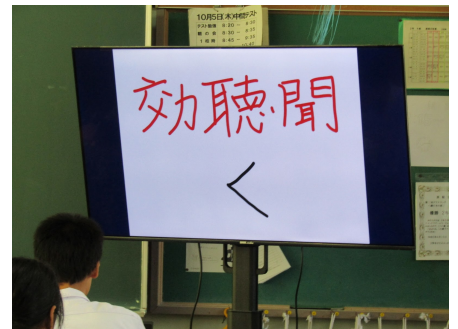
先生から「解答を書き終わったか」という問いかけに、生徒からは「待つて」という声上がり、答えが大型モニターに表示されると、生徒らの喜ぶ様子や悔しがる様子が見られ、クラスが一体となった楽しい授業が行われていました。



大型モニターに表示される問題



ロイロノートで生徒が解答を記入



大型モニターを使用して答え合わせ